

たかねまちづくり協議会事業評価シート

担 当 部 会 名	健康福祉部								
1 事業の位置付け (P l a n)									
事 業 名	夏休みラジオ体操	事業 番号	5-(3)		個別 番号	①			
まちづくり計画書の基本方針	☐ (1) 地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。 ☐ (2) 地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。 ☐ (3) 美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。 ☐ (4) 地域防災の仕組みを具体化させる。 ☒ (5) 支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。 ☐ (6) 農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。					取組みの方向性や実施する事業			
						健康維持のための体力づくり運動を展開する。			
計 画 年 度 ※	H24	H25	H26	H27		H28			
実 施 年 度 ●			●	●	※	●	※	●	

2 事業の実施 (D o)								
事業の内容	概 要	健康増進と健やかな人間性を養うため、集落ごとの夏休みの子どもたちのラジオ体操と一緒に参加する。参加者にはTシャツをプレゼントする。						
	対 象	高根地区住民						
	事 業 期 間							
	成 果 指 標	なし						
	成 果	子どもから高齢者まで健康づくりをしながら異世代交流ができた。						
	課 題	参加者が固定化している。マンネリ化している。時間的に役員の負担が大きい。						
経費及び指標	項 目	H24	H25	H26	H27	H28(見込)		合計
	経 費 (千 円)		273	129	35	125		562
	会 議 回 数		4	2	3	2		11
	会 議 人 数		25	10	14	15		64
	参 加 者 数		137	156	181	179		653
	全体アンケート					●		
	結 果	ふつう・よかった113 / 知らなかった10 / よくなかった2						

3 事業の視点別評価 (Check)	
達成度	成果の達成度 ☒ 達成度はかなり高い ☐ 達成度はやや高い ☐ 達成度は低い (上記選択の理由) 健康づくりをしつつ異世代交流ができた。
必要性	実施の必要性 ☒ 必要性が高い ☐ 必要性が今後高まっていく ☐ 必要性が低い、ない (上記選択の理由) 子どもたちやPTAに加え、地域の人に参加することで異世代交流の場となっている。
	まち協が関与する妥当性 ☐ 関与すべき ☒ 集落で実施すべき ☐ 団体等で実施すべき (上記選択の理由) 役員も少なく、負担が大きい。
効率性	対象・手段の妥当性 ☒ 妥当 ☐ 改善の余地あり (上記選択の理由) まち協が主体ではなく、子どもが実施するラジオ体操に支援している。
	事業費の削減余地 ☒ 削減の余地あり ☐ 削減の余地はない (上記選択の理由) Tシャツ配布をやめる。
	人員の削減余地 ☐ 削減の余地あり ☒ 削減の余地はない (上記選択の理由) 役員が少なく、負担が大きい。
	成果の向上余地 ☒ 余地あり ☐ 余地がある程度ある ☐ 余地はほとんどない (上記選択の理由) 他の事業と統合および参加者募集を工夫することで成果は上がると思われる。

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価結果	今後の改革の方向性 ☐ 現状継続 ☒ 見直しのうえで継続 ⇒ 今後の方向性： ☐ 拡大 ☐ 他の事業と統合 ☒ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止(発展的解消含む、実施取りやめを含む)
	(上記方向付けの理由) 5年間まち協で支援してきたが、小学生、一般、老人会の出席があり、事業を固定しつつあるため、役員の負担を軽減したい。
	(改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画) 今後はPTA等に引き継いでもらう。